

令和6年度 校内研究 高学年分科会提案

令和6年11月20日
杉並区立富士見丘小学校
高学年分科会

1 研究主題について

《 研究主題 》

学びの構造転換「キャリア教育の推進」

～すべての子どもが、なりたい自分になるために～

高学年キャリア教育目標

- 今の自分に必要な力を身に付ける 【自己理解・自己管理能力】
- 自他共に気持ちの良い関わり方を工夫する 【人間関係形成・社会形成能力】
- 身の回りの問題点をより良くしようと工夫する 【課題対応能力】
- ◎高学年の立場や役割をになう中でなりたい自分のすがたについて考える 【キャリアプランニング能力】

高学年の児童は、子どもらしく素直でチャレンジ精神があり、委員会活動などには意欲的に取り組んでいる。また、移動教室や学校行事に向けた活動など、準備を重ね、周りから応援されたり見られたりする場面では、上級生としてふさわしい姿を見せることができる。しかし、その一方で普段の生活の中では、良い姿を出しきることができていない。また、諸問題に対して当事者意識をもつことができず、失敗した際に自分を顧みることができず、他責で済まそうとする場面も多く見られる。様々な環境や性格をもった他者がいることは理解しつつも、そのような人から自分が不利益を被るとなると受け入れることができない心の弱さも目立つ。これらの課題を改善できるよう、行事や道徳科などあらゆる場面で活動の目的や目標を定めながら指導してきた。そのかいもあり、学習態度、生活規律において成長を感じる場面も増えてきた。卒業が目に見えてきたこの時期に、大人になるために大切なことを考え、その力を身に付けるために、卒業までの日々をどのように過ごしていくのかを考えるきっかけとしたい。

2 目指す学びと指導の工夫

(1) 主体的な学び

- 視聴覚資料の活用

実際の写真や動画を提示することで、年齢の上での成人と、現実の成人を客観的に捉え、自分はどんな大人になりたいのかとじっくり考えられるようにする。

(2) 対話的な学び

- ロイロノートでの共有

「子どもの特徴」「大人になるために大切なこと」等、それぞれ児童が考えたことをロイロノートに入力し

て共有し、自分の考えと比較しながらクラスメイト全員の考えを知ることができる。また、グループ交流の際、自分の考えとともに、自分が共感した友達の考えなども紹介し合うことで、対話を通じて「大切なこと」についての考えをより深められるようにする。

(3) 深い学び

○フォームス（アンケート）の活用

現6年生児童の保護者には「どのように成長し、どんな大人になってほしいと願っているか」、現在中学3年生・高校1年生となる本校卒業生（6年時に授業者が担任）には「大人になるために大切なこととはどんなことだと考えているか」ということについて、事前にアンケート調査への回答を依頼した。そこに寄せられた意見や考えを知ること、児童はより身近な自分事として主体的に、大人になるために必要な力や大切なことについて考えられるようにする。

3 分科会として見ていただきたい視点（本時の学習）

視点1 指導者の発問や問い返しは、ねらいに迫るうえで有効であったか。

視点2 視聴覚資料やロイロノートの活用、アンケート調査の結果は、児童が考えを深め、まと

※ 以上の視点をもとに、グループ協議をお願いいたします。

第6学年2組 学級活動（3）指導案

日時：令和6年11月20日（水）

第5校時（13：20～14：05）

場所：富士見丘小学校

児童：第6学年2組26名

授業者：中村 優太

1 題材「『大人になる』ってどういうことだろう」

学級活動（3）ア現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成

2 題材について

（1）児童の実態

子どもらしく素直でチャレンジ精神があり、委員会活動や体育での取り組む姿勢には光るものがある。また、移動教室や、70周年記念式典など、準備を重ね、周りからも応援されたり、見てもらったりする場では、最上級生として相応しい立派な姿を見せることができる児童である。一方で、その姿を普段の生活に落とし込むことがなかなかできない。諸問題に対して当事者意識をもつことができずに、失敗してしまった時も自分を顧みず他責で済まそうとする場面も多くある。様々な環境や性格をもった他者がいることは理解しつつも、そういった人たちによって自分が不利益を被るとなったら受け入れることができない心の弱さも目立つ。これらの問題は一朝一夕で改善されることはない。そのため「6 事前の指導」の通り、行事や道徳科などあらゆる場面で細かにこの活動を行う目的や、目標を定めてきた。そのかいもあり、年度当初と比較すると学習態度、生活規律において成長を感じる場面も増えてきた。6年生も後半になりいよいよ「卒業」が見えてきた。大人になるために大切なことを考え、その力を身に付けるために、どのように卒業までの日数を過ごしていくのかを考えていくきっかけにしたい。

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の中で本題材に大きく関わりをもっているものを抽出すると以下ようになった。

（当てはまる どちらかといえば当てはまるの割合を足した%）

番	問	本校	東京都	全国
(9)	自分には、よいところがあると思いますか？	84.8	84.5	84.1
(11)	将来の夢や目標を持っていますか？	75	80.7	82.4
(15)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか？	94.4	94.9	95.9
(19)	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか？	90.2	90.9	91.7
(25)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか？	81.9	80.5	83.5

東京都平均や全校平均と比較すると（11）が東京都平均からは-5.7%、全国平均からは-7.4%と大きく差が出ている結果になった。それ以外の結果は平均前後の値となっており、自分の良さを把握し、社会や自分の周囲の人たちを幸せにしたい気持ちがあるものの、具体的な目標や夢を持っていないという課題がある。今回の学習を通して「将来の夢や目標を持つ」というのはいわゆる職業だけでなく、どういった大人になりたいか、どういった人間でありたいかという視点をもたせたい。

（2）題材設定の理由

本題材は、小学校学習指導要領解説特別活動編の内容【学級活動「（3）一人一人のキャリア形成と自己実現」 ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成】をもとに設定した。本題材『大人になる』ってどういうことだろうは、なりたい自分の姿を明確にもたせて、キャリア形成につなげていくことを目指し設定した。

令和4年に成人年齢の引き下げもあり、6年生は約6年後には法律上では大人になる。年齢は誰でも時間が経つとともに上がっていき法律上は大人という扱いになる。しかし、世の中のニュースを見ていると不祥事を起こしている大人が数多くいる。その一方で先日のパリオリンピックのような多くの人々に勇気や感動を与えられるような活躍をしている大人も多くいる。様々な大人の行動を改めて見ていく中で、卒業が近づいてきた今、もう一度なりたい自分はどんな姿なのかを考え、残りの学校生活にどのような課題をもって臨むのかを明確にさせたい。

3 評価規準

観点	よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評価規準	働くことや学ぶことの意義を理解するとともに、自己の良さを生かしながら将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見出し、解決のために話し合っって意思決定し、自己の良さを生かしたり、他者と協力したりして、主体的に活動している。	現在および将来にわたってよりよく生きるために、自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。

4 主体的・対話的で深い学びへの手立て

視聴覚資料の活用

実際の写真や動画を提示することで、年齢の上での成人と、現実の成人を客観的に捉え、自分はどんな大人になりたいのかとじっくり考えられるようにする。

フォームス（アンケート）の活用

現6年児童の保護者には「どのように成長し、どんな大人になってほしいと願っているか」、現在中学3年生・高校1年生となる本校卒業生（6年時に授業者が担任）には「大人になるために大切なこととはどんなことだと考えているか」ということについて、事前にアンケート調査への回答

を依頼した。そこに寄せられた意見や考えを知ること、児童はより身近な自分事として主体的に、大人になるために必要な力や大切なことについて考えることができると考えた。

ロイロノートでの共有

「子どもの特徴」「大人になるために大切なこと」等、それぞれ児童が考えたことをロイロノートに入力して共有し、自分の考えと比較しながらクラスメイト全員の考えを知ることができる。また、グループ交流の際、自分の考えとともに、自分が共感した友達の考えなども紹介し合うことで、より「大切なこと」についての考えを深められると考えた。

5 本単元とキャリア教育のつながり

<p>【高学年のキャリア教育目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自己理解・自己管理能力・・・「今の自分に必要な力を身に付ける」 ○課題解決能力・・・「自他共に気持ちの良い関わり方を工夫する」 ○人間関係形成・社会形成能力・・・「身の回りの問題点をより良くしようと工夫する」 ○キャリアプランニング能力・・・「高学年の立場や役割をになう中でなりたい自分のすがたについて考える」
--

高学年として定めたキャリア目標は上記の4点である。本時では特に、「キャリアプランニング能力」に重点を置き取り組むことにした。

○キャリアプランニング能力・・・「高学年の立場や役割をになう中でなりたい自分のすがたについて考える」

先日、中学校の生徒総会を見学した際、中学校の副校長から「中学校の3年間は、大人になるための3年間です。その覚悟をもって過ごすことが大切です。」というお話をいただいた。「なりたい自分のすがた」に少しでも近づく努力は、小学校を卒業した後、中学校でも当然続けていかなくてはならない。今回、映像や身近な先輩たちの考えを聞いていく中で、なりたい自分の姿について、より具体的に考えるきっかけとなると考えた。

6 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
1 「めざすじぶんシート」に6年生で目指す自分とそのため一学期具体的にどんなことに取り組むかを書く。	・各学期に振り返りを行い、必要があれば自分の目標の修正を行う。	・めざす自分の姿を文章に表し、振り返りの中で適宜修正を行っている。
2 一年生のお手伝いや縦割り班の班長としての取り組み。	・自分の承認欲求を満たすためにお手伝いをしたり、ただ、下級生の意見を聞いたりするだけではないようにする。	・次の活動への見通しをもっている。

<p>3 道徳「奉仕する心」 「陰徳って？」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有名人の陰徳にまつわるエピソードや、実際に誰からも褒められない場面でクラスの友達がしていた行動を具体的に紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 陰徳を重ねていき、誰からも応援されるような生活を目指す心情を育てる。
<p>4 総合 「移動教室」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移動教室の行う目的をきちんと伝えておく。班決めするとき、より良い人間関係を形成するために必要なことを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ しおりに一日の記録を行い、振り返りをする。集団生活で学んだことを学校生活に生かす。
<p>5 行事 「70周年記念式典」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6年生として参加する意味を考えさせる。責任をもって自分の役割を果たすよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富士見丘小学校の歴史や伝統を知り、最上級生としてそれらを来賓の方や下級生に伝えている。ロイロノートに振り返りを残し、「目指す自分シート」の加筆・修正に利用している。
<p>6 道徳「限りある命の中で」 「生きる意味」ってなんだろう？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 段階を踏みながら自分事で考えられるように誘導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 限りある命の中でよりよく生きようと目標や頑張りたいことを考える。
<p>7 道徳「人間の強さ、気高さ」 「強い人、弱い人」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ パリオリンピックでメダルを獲得できなかった人は弱い人なのか映像を見ながら考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人には困難を克服したり、挫折から立ち直ったりする強さや気高さがあることを理解し自分の生活に生かそうとしている。

7 本時の学習

(1) 本時のねらい

「大人」の様々な場面での行動や言動を見ていく中で、なりたい自分のすがたについて考える。

(2) 本時の展開

	児童の活動	指導上の留意点	資料	目指す児童の姿と評価方法
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「77日」という日数が何を示しているのかを考える。 ・ 写真で1130日の小学 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業式までの日数。 ・ 今後の展開を考え短い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1～5年生の 	

	<p>校生活を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「約 2270 日」が何を示しているのかを考える。 ・子どもの特徴をロイロノートに書き出す。3つかけた人から提出。 ・成人年齢について知る。 ・今日のテーマを発表する。 	<p>スライドにする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・答えが分かる児童もいるがここでは答えは言わない。 ・提出した児童から発表。「自分たちだけで〇〇できない」というような回答が出たら、そしてそれはなぜかを問う。→「成人していないから」を押さえる。 ・令和4年に成人年齢の変更があったことを説明し、先ほどの「約 2270 日」の答え合わせをする。 	<p>写真</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出箱の準備 ・成人年齢引き下げの資料。 	
<p>大人になるために大切なことは？</p>				
<p>展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・成人式の映像を見て「大人か子どもか」を考える。 ・大人が起こした迷惑行為の実例を見てこの人たちは大人ではあるが「どう思うか」を「なぜそういうことをしてしまったのか。」を考える。 ・「大人になるために大切なこと」を考え、箇 	<ul style="list-style-type: none"> ・成人式で逮捕された新成人の実際の映像を見せる。 ・これらの行為をしてしまった大人が子どもの時には、こういう行為をしてしまう大人になりたかったのかと問い、誰でも、迷惑をかける大人になってしまう可能性があることを考えさせる。 ・感動や子どもたちに夢や希望を与えた大人の姿や身近な尊敬できる大人の姿を提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成人式の映像。 ・電車での迷惑行為やハロウィンでの事件、誹謗中傷のことを取り上げる。 ・横田選手やオリンピック選手の画像。主事さん 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な大人の姿を見ていく中で「大人になるために大切なこと」を考え

	<p>条書きでロイロノートに入力する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のノートに友達のカードを入れる。 ・班でお互いの意見を交換する。 <p>・中学3年生、高校1年生の先輩方は同じ問いに対してどのように考えているのかを紹介する。また、自分たちの保護者はみんなにどんな大人になって欲しいと思っ ているかを紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の意見も参考にしながら、「大人になるために大切なこと」をまとめ、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3つ以上入力することを目標とする。提出できた人は、その後なぜそれが大切なのか、理由を追記する。 ・理由が入力できていなくても口頭で説明するようにする。 ・自分の考えを伝え、いいと思った意見も班員に伝える。 ・パソコンは発表者以外触らないように指導する。 ・先輩の考えや保護者の思いを見ていく中でなり たい自分の姿をより具体的にイメージする。 	<p>や、シルバーさんなど身近な大人たち。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノート提出箱。 <ul style="list-style-type: none"> ・先輩や保護者の考えを精査してまとめたデータ。 	<p>ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の考えを聞いたうえでもう一度「大人になるために大切なこと」を考え、まとめること によってなりたい自分の姿を明確にすることができる。
<p>終末</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のまとめとキャリア目標、教育目標に触れながら、あとの日数をどのように過ごしていくかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考えた姿に向けて残りの日数をどのように頑張っていくか、その姿をしっかりと見守っていくことを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校キャリア目標、教育目標のスライド 	

8 事後の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
・「目指す自分シート」に2学期の振り返りを行う。	・2学期の活動や学習を思い出させられるように資料を準備する。	・2学期の活動を振り返り、目指す自分に向けて、どのような努力をしていくのか、考えている。